大会名称: 第72回国民体育大会

愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: 今治市営中央体育館 Dコート

試合区分: No. 22 成年女子 準々決勝

期 日: 2017(H29)年10月3日(火)

開始時間: 15:30

終了時間: 17:00



主審: 阿部 聖

副審:望月 公平

兵庫	O 88	27 — 12 18 — 18 25 — 17 18 — 20	• 67	熊本
(近畿)		1 1		(九州)

4 * 薬師寺 伶 13 0 6 1 4 7 5 前島 憧子 -										
4 * 薬師寺 伶 13 0 6 1 4 7 5 前島 憧子 -	No.	S		PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
5 前島 憧子	4	*	薬師寺 伶	13	0	6	1	4	7	1
6 * 野口美香子 14 1 4 3 4 6 7 * 井上 桃子 15 0 4 7 2 6 8 山本 未来 0 0 0 0 1 1 9 * 大濱 留華 14 0 5 4 3 6 10 趙 楽 - - - - - - - 11 伊藤 夏樹 0 0 0 0 1 0 12 纐纈 那月 - - - - - - 13 * 谷口二千華 23 1 6 8 3 6 14 平岩 素菜 9 0 4 1 2 10	5		前島 憧子		_	_	_	_	_	-
8 山本 未来 0 0 0 1 1 9 * 大濱 留華 14 0 5 4 3 6 10 趙 楽	6	*	野口美香子	14	1	4	3	4	6	1
10 趙 楽	7	*	井上 桃子	15	0	4	7	2	6	1
10 趙 楽	8		山本 未来	0	0	0	0	1	1	C
10 趙 楽	9	*	大濱 留華	14	0	5	4	3	6	5
12 纐纈 那月	10		趙楽	_	_	_	_	_	_	_
Table Tab	11		伊藤 夏樹	0	0	0	0	1	0	-
14 平岩 素菜 9 0 4 1 2 10 HC 山戸 英二 / TEAM	12		纐纈 那月	_	_	_	_	_	_	_
14 平岩 素菜 9 0 4 1 2 10 HC 山戸 英二 / TEAM	13	*		23	1	6	8	3	6	5
	14		平岩 素菜	9	0	4	1	2	10	1
	HC		山戸 英二 / TEAM					_		
			合計	88	2	29	24	20	42	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	田中 愛巳	13	1	5	0	3	0	0
5		西村かおり	0	0	0	0	2	4	2
6		赤坂真依子	_	_	_	_	_	_	_
7	*	成松 祐里	8	0	3	2	4	3	1
8	*	野尻 絢那	0	0	0	0	1	0	0
9	*	落合 千里	22	0	9	4	3	4	2
10		松本恵理奈	16	3	2	3	3	1	3
11		金子 仁美	_	_	_	_	_	_	_
12		上野 綾菜	_	_	_	_	_	_	_
13	*	米村 知紗	8	0	3	2	3	10	2
14		簑田小百合	0	0	0	0	3	0	1
НС		鹿毛美智子 / TEAM					_		
		合計	67	4	22	11	22	22	11

S: スターター PTS: ボイント 3P: 3ボイントシュート 2P: 2ボイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、熊本県の#9がジャンプシュートを決めると、負けじと兵庫県の#6がジャンプシュートを決め返す。兵庫県は#6と#13を中心に、熊本県は#9を中心に攻撃を組み立てる。中盤兵庫県は#13が3連続得点するなど相手を圧倒し、27-12と兵庫県リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、追いつきたい熊本県は#4と#10が果敢に3Pを狙うがなかなか決めることが出来ない。兵庫県はインサイドを執拗に攻めたてる作戦が見事はまり、得点を伸ばしていく。それでも、熊本県は粘り強いディフェンスから#4が3連続得点を決めるなどし、一時は24点差まで広げられた得点を盛り返す。45-30と兵庫県15点リードで前半終了。第3ピリオドに入っても兵庫県が攻撃の手を緩めない。ノーマークをうまく作ってからのシュートを確実に決め、リードを再び20点に広げる。熊本県はエースの#9が1対1をしかけるが、兵庫県#9のディフェンスがその動きを封じる。終盤、熊本県の#10が2本の3Pを決めるものの70-47と兵庫県のリードが広がり、第3ピリオド終了。第4ピリオド、後のない熊本県はスピードのある攻撃を仕掛ける。#4と#9、がドライブインでシュートに持ち込み逆転を狙う。しかし、兵庫県が終始安定したチーム力を見せる。高いリバウンドと攻撃力でリードを保な、88-67で原庫県が勝利した。アルの場合であたいのによりない。 ウンドと攻撃力でリードを保ち、88-67で兵庫県が勝利した。互いの得点源をいかに止めるかが勝負の分かれ目となった試合だが、気力と体力を振り絞って最後まで戦った両チームの

担当者:村上 哲也(愛媛県バスケットボール協会)

選手に賛辞を送りたい。

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

